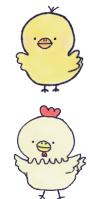


接続詞の種類

①順接



前の内容が原因・理由となり
後に結果や結論がくる。

だから、すると
それで、そこで、したがって

もしくは つまり けれども ただし

②逆接



前の内容と対立するような
ことが後につくる。

しかし、ところが、でも
けれど、だが、けれども

④対比・選択



前のことと後のこととの
どちらかを比べたり選んだりする。

それとも、あるいは
または、もしくは

など

⑤説明・理由・例示・補足



前の内容の説明や理由、例や補足を
あらわす。

なぜなら、つまり、
たとえば、ただし

など

⑥転換



話題を変えてあとの事柄に
続ける。

さて、といひで
では、それでは

など

次の□に入る接続詞を選んでみましょう

予定よりも早く家をでた。**けれども**間に合わなかつた。

雨が激しくふってきた。**そのうえ**風もふいてきた。

数学の勉強をしようか。**もしくは**英語にしようか迷う。

とてもつかれている。**つまり**疲労困憊といふことだ。

納豆は体に良い。**ただし**食べ過ぎると健康によくない。

いつしうけんめい勉強をした。**すると**成績があがつた。

家についた。**さて**夕ご飯の準備にとりかかる。